

| 品目 | 規格・単位 | 薬価 | 薬価基準収載医薬品コード | 一般名 | 会社名*1 | 効能・効果 | 用法・用量*2 | 分類 | 規制 | 発売予定 |
|---|---|--|--|--|----------------------------|---|---|------|----------|--------------|
| <内用薬> アラグリオ内用剤1.5g アラベル内用剤1.5g | 1.5g 1瓶 1.5g 1瓶 | 87,867.30 87,867.30 | 7290007X1023 7290007X1031 | アミルプ [®] リン酸塩酸塩 | SBIファーマ ノーヘルファーマ | 悪性神経膠腫の腫瘍摘出術中における腫瘍組織の可視化 | 成人には、アミルプ [®] リン酸塩酸塩として20mg/kgを、手術時の麻酔導入前3時間(範囲:2~4時間)に、水に溶解して経口投与する。 | 729 | 処方 | 未定 未定 |
| イーケプラ ドライシロップ50% | 50% 1g | 253.90 | 1139010R1020 | レ [®] チセム | UCB=大塚 | 他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の部分発作(二次性全般化発作を含む)に対する抗てんかん薬との併用療法 | <成人>成人にはレ [®] チセムとして1日1000mg(ドライシロップとして2g)を1日2回に分けて用時溶解して経口投与する。なお、症状により1日3000mg(ドライシロップとして6g)を超えない範囲で適宜増減するが、増量は2週間以上の間隔をあけて1日用量として1000mg(ドライシロップとして2g)以下ずつ行うこと。 <小児>4歳以上の小児にはレ [®] チセムとして1日20mg/kg(ドライシロップとして40mg/kg)を1日2回に分けて用時溶解して経口投与する。なお、症状により1日60mg/kg(ドライシロップとして120mg/kg)を超えない範囲で適宜増減するが、増量は2週間以上の間隔をあけて1日用量として20mg/kg(ドライシロップとして40mg/kg)以下ずつ行うこと。ただし、体重50kg以上の小児では、成人と同じ用法・用量を用いること。 | 1139 | 処方 | 8月29日 |
| イーフェンバツカル錠 50μg イーフェンバツカル錠 100μg イーフェンバツカル錠 200μg イーフェンバツカル錠 400μg イーフェンバツカル錠 600μg イーフェンバツカル錠 800μg | 50μg 1錠 100μg 1錠 200μg 1錠 400μg 1錠 600μg 1錠 800μg 1錠 | 507.50 708.10 988.00 1,378.60 1,675.20 1,923.60 | 8219001K5023 8219001K6020 8219001K7026 8219001K8022 8219001K9029 8219001T1023 | フェンタニル [®] 塩酸塩 | 帝國製薬 =大鵬 | 強 [®] オイド [®] 鎮痛剤を定時投与中の癌患者における突出痛の鎮痛 | 成人には1回の突出痛に対して、フェンタニルとして50又は100μgを開始用量とし、上顎臼歯の歯茎と頬の間で溶解させる。用量調節期に、症状に応じて、フェンタニルとして1回50、100、200、400、600、800μgの順に一段階ずつ適宜調節し、至適用量を決定する。なお、用量調節期に1回の突出痛に対してフェンタニルとして1回50~600μgのいずれかの用量で十分な鎮痛効果が得られない場合には、投与から30分後以降に同一用量までの本剤を1回のみ追加投与できる。至適用量決定後の維持期には、1回の突出痛に対して至適用量を1回投与することとし、1回用量の上限はフェンタニルとして800μgとする。ただし、用量調節期の追加投与を除き、前回の投与から4時間以上の投与間隔をあけ、1日当たり4回以下の突出痛に対する投与にとどめること。 | 8219 | 劇麻 処方 | 年内 |
| イルトラ配合錠LD イルトラ配合錠HD | 1錠 1錠 | 130.50 195.80 | 2149119F1024 2149119F2020 | イル [®] サルタン ・トリコロールメチアジド [®] | 塩野義 | 高血圧症 | 成人には1日1回1錠(イル [®] サルタン/トリコロールメチアジドとして100mg/1mg又は200mg/1mg)を経口投与する。本剤は高血圧治療の第一選択薬として用いない。 | 2149 | 処方 | 9月4日 |
| ウリアデック錠20mg ウリアデック錠40mg ウリアデック錠60mg トピロリック錠20mg トピロリック錠40mg トピロリック錠60mg | 20mg 1錠 40mg 1錠 60mg 1錠 20mg 1錠 40mg 1錠 60mg 1錠 | 20.60 38.90 56.40 20.60 38.90 56.40 | 3949004F1028 3949004F2024 3949004F3020 3949004F1036 3949004F2032 3949004F3039 | ト [®] ピソスタット | 三和化学 富士薬品 | 痛風、高尿酸血症 | 成人にはト [®] ピソスタットとして1回20mgより開始し、1日2回朝夕に経口投与する。その後は血中尿酸値を確認しながら必要に応じて徐々に増量する。維持量は通常1回60mgを1日2回とし、患者の状態に応じて適宜増減するが、最大投与量は1回80mgを1日2回とする。 | 3949 | 処方 | 9月4日 9月4日 |
| ルナベル配合錠ULD | 1錠 | 327.90 | 2482009F2020 | ル [®] エチステロン ・エチニルエストラジ [®] オール | ノーヘルファーマ =日本新薬 =富士製薬 | 月経困難症 | 1日1錠を毎日一定の時刻に21日間経口投与し、その後7日間休薬する。以上28日間を投与1周期とし、出血が終わっているか続いているかにかかわらず、29日目から次の周期の錠剤を投与し、以後同様に繰り返す。 | 2482 | 処方 | 9月以降 |

| 品目 | 規格・単位 | 薬価 | 薬価基準収載 医薬品コード | 一般名 | 会社名*1 | 効能・効果 | 用法・用量*2 | 分類 | 規制 | 発売予定 |
|---------------------------------|------------------|-----------------|------------------------------|--------------------|------------------------|---|--|------|---------------|-------|
| <注射薬> アセリオ静注液1000mg | 1,000mg100mL1瓶 | 332.00 | 1141400A1024 | アセトアミノフェン | テルモ | 経口製剤及び坐剤の投与が困難な場合における疼痛及び発熱 | 詳細は添付文書をご覧ください。 | 114 | 劇 処方 | 未定 |
| オレンシア皮下注 125mgシリンジ1mL | 125mg1mL 1筒 | 27,171.00 | 3999429G1028 | アバタセプト (遺伝子組換え) | ブリストル ・マイヤース =小野 | 関節リウマチ(既存治療で効果不十分な場合に 限る) | 成人には、投与初日に負荷投与としてアバタセプト(遺伝子組換え)点滴静注用製剤の点滴静注を行った後、同日中に本剤125mgの皮下注射を行い、その後、本剤125mgを週1回、皮下注射する。また、本剤125mgの週1回皮下注射から開始することもできる。 | 3999 | 生物 劇 処方 | 8月27日 |
| パージェタ点滴静注 420mg/14mL | 420mg14mL 1瓶 | 231,866.00 | 4291424A1020 | ペルツスマブ (遺伝子組換え) | 中外 | HER2陽性の手術不能又は再発乳癌 | トラスツスマブ(遺伝子組換え)と他の抗悪性腫瘍剤との併用において、成人に対して1日1回、ペルツスマブ(遺伝子組換え)として初回投与時には840mgを、2回目以降は420mgを60分かけて3週間間隔で点滴静注する。なお、初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる。 | 4291 | 生物 劇 処方 | 9月12日 |
| ボンビバ静注1mgシリンジ | 1mg1mL 1筒 | 4,918.00 | 3999438G1027 | イバンドロ酸 ナトリウム水和物 | 中外 =大正富山 | 骨粗鬆症 | 成人にはイバンドロ酸として1mgを1カ月に1回、静脈内投与する。 | 3999 | 劇 処方 | 8月29日 |
| リクスマミア皮下注300μg | 300μg3mL 1キット | 6,972.00 | 2499415G1024 | リシナチド | サノフィ | 2型糖尿病 ただし、下記のいずれかの治療で十分な効果が得られない場合に限る。 ①食事療法、運動療法に加えてスルニルリア剤(ビグアナイド系薬剤との併用を含む)を使用 ②食事療法、運動療法に加えて持効型溶解インスリンまたは中間型インスリン製剤(スルニルリア剤との併用を含む)を使用 | 成人には、リシナチドとして、20μgを1日1回朝食前に皮下注射する。ただし、1日1回10μgから開始し、1週間以上投与した後1日1回15μgに増量し、1週間以上投与した後1日1回20μgに増量する。なお、患者の状態に応じて適宜増減するが、1日20μgを超えないこと。 | 2499 | 劇 処方 | 9月17日 |
| <外用薬> ピソノテープ4mg ピソノテープ8mg | 4mg 1枚 8mg 1枚 | 89.30 123.00 | 2149700S1027 2149700S2023 | ピソノロール | トアエイコー =アステラス | 本態性高血圧症(軽症～中等症) | 成人にはピソノロールとして8mgを1日1回、胸部、上腕部又は背部のいずれかに貼付し、貼付後24時間ごとに貼りかえる。なお、年齢、症状により1日1回4mgから投与を開始し、1日最大投与量は8mgとする。 | 2149 | 処方 | 9月10日 |

薬価基準適用外品目

| 品目 | 規格・単位 | 薬価 | 薬価基準収載 医薬品コード | 一般名 | 会社名*1 | 効能・効果 | 用法・用量*2 | 分類 | 規制 | 発売予定 |
|--|----------|----|------------------|---|--------------|--|--|------|---------------|------|
| <注射薬> 細胞培養インフルエンザ ワクチンH5N1「タケダ」5mL | 5mL 1瓶 | — | — | 細胞培養 インフルエンザ ワクチン (H5N1株) | 武田 | 新型インフルエンザ(H5N1)の予防 | 0.5mLを3週間以上の間隔において、筋肉内又は皮下に2回注射する。 | 6313 | 生物 劇 処方 | — |
| 細胞培養インフルエンザ ワクチンH5N1 「バクスター」 | 5mL 1瓶 | — | — | | バクスター | | | | | — |
| プレベナー13水性懸濁注 | 0.5mL 1筒 | — | — | 沈降13価肺炎球菌 結合型ワクチン (無毒性変異型 7価毒素結合体) | ファイザー =武田 | 肺炎球菌(血清型1,3,4,5,6A,6B,7F, 9V,14,18C,19A,19F及び23F)による侵襲性感染症の予防 | 初回免疫:1回0.5mLずつを3回、いずれも27日間以上の間隔で皮下に注射する。 追加免疫:1回0.5mLを1回、皮下に注射する。ただし、3回目接種から60日間以上の間隔をおく。 | 6311 | 生物 劇 処方 | 11月 |

*1 会社名中、2社以上の表記については、前社が製造販売承認取得会社、後社は販売会社であることを示します。

*2 一部省略してありますので詳細は添付文書等をご確認下さい。